正誤表

○11ページ　二　問六

11ページ　二　問六の問題を削除します。

マークシートの解答番号29について、解答記入欄にマークしないでください。

なお、解答番号30～50について、解答記入欄への記入がずれないように正しくマークしてください。

kyosai-guild.jp

正誤表

○ 16ページ　三　問五

16ページ 三 問五の問題を削除します。

マークシートの解答番号35について、解答記入欄にマークしないでください。

なお、解答番号36 ～50 について、解答記入欄への記入がずれないように正しくマークしてください。

kyosai-guild.jp

7〔高等学校　国語〕

受験区分	受験番号	氏　　名

〔注意事項〕

1　試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2　この試験は、コンピュータを利用して採点するため、解答用紙にていねいに鉛筆で記入してください。

3　解答用紙には解答記入欄以外に次の記入があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。

(1)　受験区分・受験番号欄

受験区分・受験番号（数字）を受験票のとおりに記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。正しくマークされていない場合には、採点できないことがあります。

(2)　氏名欄、校種等・教科（科目）欄

氏名・フリガナ及び校種等・教科（科目）を記入してください。なお、校種等・教科（科目）については、受験票のとおりに記入してください。

4　試験時間は60分です。

5　解答は、解答用紙の解答記入欄にマークしてください。例えば、[1]と表示のある解答番号に対して③と解答する場合は、次の（例）のように解答番号[1]の解答記入欄の③にマークしてください。

（例）

解答番号	解答記入欄 1 － 20
[1]	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

6　解答用紙の解答記入欄は、全部で、[100]まで記入できるようになっていますが、〔高等学校　国語〕試験の解答番号は１～50 ですので、解答記入欄の[51]～[100]は絶対に記入しないでください。

7　どの問題も、解答番号一つにつき解答記入欄にマークできる答えは必ず一つです。二つ以上の番号にマークしたものは採点されません。

8　解答番号のマークを間違えたときは、消しゴムで完全に消してからマークしてください。

9　計算を要する問題は、問題用紙の余白を利用してください。解答用紙で計算しないでください。

10　問題の内容についての質問はできません。

〔一〕 次の問いに答えなさい。

問一 次の記述は，平成三十年三月に告示された「高等学校学習指導要領」の「第2章　各学科に共通する各教科」「第1節　国語」「第2款　各科目」「第5　国語表現」「1　目　標」である。空欄ア～ウに当てはまるものの組合せとして最も適切なものを，後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 1 。

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で［ア］に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) ［イ］に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，［イ］における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって［ウ］に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

① ア 正確　イ 社会生活　ウ 古典
② ア 的確　イ 実社会　ウ 読書
③ ア 確実　イ 生涯　ウ 文学
④ ア 正確　イ 実社会　ウ 読書
⑤ ア 的確　イ 社会生活　ウ 文学

問二 平成三十年三月に告示された「高等学校学習指導要領」の「第2章　各学科に共通する各教科」「第1節　国語」「第2款　各科目」「第2　言語文化」「2　内　容」〔思考力，判断力，表現力等〕「B　読むこと」の事項の記述として**適切ではないもの**を，次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 2 。

① 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めること。
② 作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈すること。
③ 文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価すること。
④ 文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えること。
⑤ 作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。

kyosai-guide.jp

問三　漢字の読み方として**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちからそれぞれ選びなさい。解答番号は 3 ～ 7 。

3
① 挙る（こぞ）　② 矯める（た）　③ 拐す（かどわか）
④ 倹しい（とも）　⑤ 競る（せ）

4
① 件（くだん）　② 経（たていと）　③ 棟（いえ）
④ 襲（かさね）　⑤ 首（こうべ）

5
① 蹉跌（さてつ）　② 完遂（かんつい）　③ 欣快（きんかい）
④ 仄聞（そくぶん）　⑤ 貼付（ちょうふ）

6
① 禰宜（ねぎ）　② 沺坏（あまづら）　③ 東雲（しののめ）
④ 破籠（わりご）　⑤ 箙（えびら）

7
① 枳殻（からたち）　② 軍鶏（しゃも）　③ 浜木綿（はまゆう）
④ 海胆（うに）　⑤ 木賊（さるのこしかけ）

問四　次の二重傍線部と同じ漢字を書くものとして最も適切なものを、後の①～⑤の傍線部のカタカナのうちからそれぞれ選びなさい。解答番号は 8 ～ 10 。

8
事態をシュウシュウする。
① シュウワイ事件で逮捕される。
② シュウリョウ証書が授与される。
③ ごみシュウシュウ車が町を走る。
④ たくさんのカンシュウが集まる。
⑤ シュウメイ披露で口上を述べる。

9
ササイな出来事。
① 外国旅行のためにサショウを取得する。
② 経歴をサショウする。
③ サショウながら手伝いをする。
④ トッサに身をかわす。
⑤ 具体的なショウサを示す。

10
電子マネーでケッサイする。
① フサイを抱える。
② 神にキュウサイを求める。
③ 伊勢のサイグウ。
④ 法廷でのサイテイを受け入れる。
⑤ シザイをなげうつ。

kyosai-guild.jp

問五　類義語の組合せとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。
解答番号は 11 。

① 峻厳 ― 苛烈
② 正鵠 ― 肯綮
③ 狼狽 ― 周章
④ 乾坤 ― 木鐸
⑤ 隠密 ― 間諜

問六　対義語の組合せとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。
解答番号は 12 。

① 該博 ― 蒙昧
② 大廈 ― 陋居
③ 齟齬 ― 吻合
④ 剛毅 ― 怯懦
⑤ 蓄積 ― 逼塞

問七　故事成語とその説明の組合せとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。
解答番号は 13 。

① 「櫛風沐雨」 ― 風雨にさらされながら苦労を重ねること。
② 「唇歯輔車」 ― 互いに助け合う必要がある間柄のこと。
③ 「切歯扼腕」 ― 激しく怒ったりくやしがったりすること。
④ 「酔生夢死」 ― 満足した日々を送り命を全うすること。
⑤ 「多岐亡羊」 ― 方法・方針が多すぎると真理に至るのが難しいこと。

問八　傍線部の語句を用いた文例として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。
解答番号は 14 。

① 考えを否定され、相好を崩す。
② 商店街の客足が減り、左前になる。
③ 安定した日々に、憂き身をやつす。
④ 失敗が重なり、落ちを取る。
⑤ 過去の偉人の伝記を読み、気脈を通ずる。

kyosai-guild.jp

問九　次の四字熟語の□に当てはまる漢字として、**どれにも該当しないもの**を、後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 15 。

盤根□節　　□引旁証　　百家□鳴　　豪放磊□

① 博
② 錯
③ 争
④ 落
⑤ 拡

問十　意味が反対になることわざの組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 16 。

① 十把一絡げ　―　二束三文
② 一を聞いて十を知る　―　目から鼻へ抜ける
③ 掃き溜めに鶴　―　団栗の背比べ
④ 芸は道によって賢し　―　餅は餅屋
⑤ 多勢に無勢　―　衆寡敵せず

問十一　外来語とその意味の組合せとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 17 。

① ハイブリッド　―　低燃費
② インセンティブ　―　誘因
③ ガバナンス　―　統治
④ アーカイブ　―　保存記録
⑤ コンセンサス　―　合意

問十二　平安時代の年中行事とそれが行われる月の組合せとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 18 。

① 豊明節会　―　霜月
② 菊被綿　―　長月
③ 白馬節会　―　師走
④ 左義長・三毬杖　―　睦月
⑤ 乞巧奠　―　文月

kyosai-guild.jp

問十三　作品と編者の組合せとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 19 。

① 『呂氏春秋』 ― 呂不韋
② 『淮南子』 ― 昭明太子
③ 『文章軌範』 ― 謝枋得
④ 『古文真宝』 ― 黄堅
⑤ 『世説新語』 ― 劉義慶

問十四　作品と作者、成立時代の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 20 。

① 『秋篠月清集』 ― 藤原良経 ― 室町時代
② 『拾遺愚草』 ― 鴨長明 ― 鎌倉時代
③ 『金槐和歌集』 ― 源頼朝 ― 鎌倉時代
④ 『散木奇歌集』 ― 源俊頼 ― 平安時代
⑤ 『長秋詠藻』 ― 藤原定家 ― 平安時代

問十五　著作物と作者、その作者と関連の深い文芸誌の組合せとして**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 21 。

① 『野菊の墓』 ― 伊藤左千夫 ― 「アララギ」
② 『海やまのあひだ』 ― 釈迢空 ― 「日光」
③ 『酒ほがひ』 ― 吉井勇 ― 「スバル」
④ 『鬼の研究』 ― 与謝野鉄幹 ― 「馬酔木」
⑤ 『群黎』 ― 佐佐木幸綱 ― 「心の花」

kyosai-gunjo.jp

問十六　人物とその説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 22 。

① 加藤周一は、文学のほか医師として医学の分野でも活躍した。終戦後、日米で構成した原子爆弾の影響に関する調査団の一員として広島を訪れたこともある。『日本文学史序説』は『万葉集』の時代から昭和に至るまでを扱った大作である。

② 柳田国男は、大学卒業後、農商務省官僚として日本各地を巡るうち、村落に残る風俗、生活や伝承についての関心を深め、いわゆる「柳田民俗学」の祖となった。晩年、沖縄研究の成果として『忘れられた日本人』をまとめた。

③ 小林秀雄は、大学時代に日野啓三らと同人誌「現代文学」を発行しながら詩作を続けた。卒業後は詩歌、芸術を中心とする評論を多く書き、『紀貫之』では正岡子規に下手な歌詠みと批判された理由を分析しつつ、貫之が優れた歌人であったことを論じた。

④ 別役実は、早くから演劇に興味を持ち、二十九歳で戯曲『世阿弥』を発表する。この作品は海外でも上演され高い評価を得た。一九六六年『劇的なる精神』を刊行し、評論家としての地位を確立した。『鷗外　闘う家長』の作者である。

⑤ 吉本隆明は、戦後政治家として出発し、その後『文学者の戦争責任』『日本の思想』などで評論家の地位を確立した。多方面の時代的な問題に積極的に取り組み、『共同幻想論』など多数の著書を残した。

問十七　次のア～オの森鷗外の作品を発表の早い順に並べた場合の組合せとして最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 23 。

ア『渋江抽斎』　イ『青年』　ウ『うたかたの記』
エ『山椒大夫』　オ『帝諡考』

① ウ－イ－エ－ア－オ
② ウ－エ－イ－オ－ア
③ イ－ア－ウ－オ－エ
④ イ－ウ－ア－エ－オ
⑤ エ－ウ－ア－オ－イ

kyosai-gunma

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

著作権の関係で、掲載できません

kyosai-guild.jp

〔四〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

故院（堀河天皇）に先立たれた作者のところに、堀河天皇の息子である鳥羽天皇のもとへ出仕せよとの白河院の仰せが伝えられる。

かくいふほどに、十月になりぬ。「＊弁の三位殿より、御ふみ」といへば、取りいれて見れば、「年ごろ、宮づかへせさせたまふ御心のありがたさなど、よく聞きおかせたまひたりしかばにや、院よりこそ、このうちにさやうなる人のたいせちなり。登時参るべきよし、おほせごとあれば、さるここちせさせたまへ」とある、見るにぞ、ア**あさましく**、ひがめかと思ふまで、イ**あきれられ**ける。おはしましをりよりかくは聞こえしかど、いかにも御いらへのなかりしには、さらでもとおぼしめすにや、それを、いつしかといひ顔に参らんこと、あさましき。＊周防の内侍、＊後冷泉院におくれまゐらせて、＊後三条院より、七月七日参るべきよし、おほせられたりけるに、

ウ**天の川おなじ流れと聞きながらわたらんことはなほぞかなしき**

とよみけんこそ、げにとおぼゆれ。

「故院の御かたみにはゆかしく思ひまゐらすれど、さしいでんこと、なほあるべきことならず。そのかみたちいでしだに、はればれしさは思ひあつかひしかど、親たち、＊三位殿などしてせられんことを、となん思ひて、いふべきことならざりしかば、エ**心のうちばかりにこそ、あまのかる**もに思ひみだれしか。げに、これも、わが心にはまかせずともいひつべきことなれど、また、オ**世を思ひすてつと聞かせたまはば、さまでたいせちにもおぼしめさじ**」と思ひみだれて、いますこし、月ごろよりももの思ひそひぬるここちして、「いかなるついでを取りいでん。さすがに、われとそぎすてんも、昔物語にも、かやうにしたる人をば、人も『うとましの心や』などこそいふめれ、わが心にも、げにさおぼゆることなれば、さすがにまめやかにも思ひたたず。かやうにて、心づから弱りゆけかし。さらば、ことつけても」と思ひつづけられて、日ごろふるに、「御めのとたち、まだ六位にて、五位にならぬかぎりは、もの参らせぬことなり。この二十三日、六日、八日ぞよき日。とく、とく」とあるふみ、たびたび見ゆれど、カ**思ひたつべきここちもせず**。

「過ぎにし年つきだに、わたくしのもの思ひののちは、人などにたちまじるべき有様にもなく、見ぐるしくやせおとろへにしかば、いかにせましとのみ、思ひあつかはれしかど、御心のなつかしさに、人たちなどの御心も、三位のさてものしたまへば、その御心にたがはじとかや、はかなきことにつけても用意せられてのみ過ぎしに、いまさらにたちいでて、見し世のやうにあらんこともかたし。君はキ**いはけなく**おはします。さてならひにしものぞ、とおぼしめすこともあらじ。さらんままには、昔のみこひしくて、うち見ん人は、よしとやはあらん」など思ひつづくるに、そでのひまなくぬるれば、

ク**かわくまもなき墨染めのたもとかなあはれ昔のかたみと思ふに**

（『讃岐典侍日記』から。一部表記を改めたところがある。）

＊**弁の三位殿**……藤原光子。鳥羽天皇の乳母。
＊**周防の内侍**……平仲子。後冷泉院の時に掌侍（内侍）となった。
＊**後冷泉院**……後朱雀天皇の皇子。
＊**後三条院**……後冷泉院の弟。
＊**三位殿**……藤原兼子。作者の姉。堀河天皇の乳母。

問一　傍線部ア「あさましく」、傍線部イ「あきれられける」、傍線部キ「いはけなく」について、ここでの意味の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 38 。

① ア　みじめになり　イ　うんざりしたことであるよ　キ　あどけなくて
② ア　見苦しく　イ　十分で嫌になったことだった　キ　賢くて
③ ア　思いもかけず　イ　おどろかれたことであった　キ　幼くて
④ ア　思慮に欠けて　イ　ばかばかしく思ったことである　キ　立派で
⑤ ア　意外なことで　イ　満足できることだった　キ　素晴らしくて

問二　傍線部ウ「天の川おなじ流れと聞きながらわたらんことはなほぞかなしき」とあるが、「わたる」の主語と解釈できる人物として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 39 。

① 周防の内侍
② 後冷泉院
③ 後三条院
④ 故院
⑤ 作者

問三　傍線部エ「心のうちばかりにこそ、あまのかるもに思ひみだれしか」とあるが、その内容の説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 40 。

① 堀河天皇に出仕することはあまりにもはれがましく、ためらう気持ちを口に出せずに心の中だけで思い悩んでいたということ。
② 鳥羽天皇にお目にかかりたいとは思っているが、服喪中に出仕するようなことははばかられるので一人で苦悩しているということ。
③ 同じ血筋の後三条院に出仕することは亡くなった天皇を思うたねとなり、悲しいことなので人にも言えず嘆いていたということ。
④ 三位殿が無理に出仕を促してくることがつらいとは思いつつも、言っても理解されないので無視し続けたということ。
⑤ 親は宮仕えすることを誇らしく思っており、気後れする自分の気持ちは相談できないので、雨が降るように考えが乱れているということ。

kyosai-guild.jp

問四　傍線部**オ**「世を思ひすてつと聞かせたまはば、さまでたいせちにもおぼしめさじ」とあるが、その現代語訳として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 41 。

① 世を捨てて死んでしまったとお聞きしたので、思っていたほどまで、わたしをたいせつにお思いにはなっていない。

② 世を捨てて死んでしまったとお聞きになったら、その分よりいっそう、わたしをたいせつにお思いになってしまうだろう。

③ 世を捨てて死んでしまったとお聞きしたので、そこまでして、わたしをたいせつにお思いになっていたのだろう。

④ 世を捨てて尼になってしまったとお聞きになったら、それでもぜひとまで、わたしをたいせつにはお思いになってはいるまい。

⑤ 世を捨てて尼になってしまったとお聞きになったので、それほどまで、わたしをたいせつにお思いにならないだろう。

問五　傍線部**カ**「思ひたつべきここちもせず」とあるが、その理由として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 42 。

① 自分の思いのままにならない事態に直面し、このままもの思いのために死んでしまってもかまわないと思っているから。

② 弁の三位から早く出家するべきだという督促を受けて、より一層出家する意志がなくなったから。

③ 今は亡き堀河天皇への思いを断ち切らなくてはならないのに、手紙を見ると過ごしてきた思い出が蘇ってくるから。

④ 再び出仕してもささいなことに気を遣わなくてはならず、出仕する自分を周りは非難するだろうから。

⑤ 鳥羽天皇への思いは募るばかりだが、親子続けての出仕について宮中の人々はよく思わないだろうから。

kyosai-guild.jp

問六　傍線部ク「かわくまもなき墨染めのたもとかなあはれ昔のかたみと思ふに」とあるが、この和歌の説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 43 。

① 涙で濡れたがまもなく乾きそうな衣の袖を見て、堀河天皇への思いに区切りをつけようとする気持ちを詠んでいる。

② 涙に濡れて乾く暇もない衣の袖を見て、堀河天皇を変わることなく恋い慕う一途な思いを詠んでいる。

③ 墨で汚れた衣の袖を見て、堀河天皇への思慕を繰り返し書き連ねてきた幾重もの気持ちを詠んでいる。

④ 墨で染め直した形見の衣の袖を見て、堀河天皇を偲ぶ気持ちを塗り替えようという思いを詠んでいる。

⑤ 川で濡らした衣の袖を見て、堀河天皇の後を追いこのまま身を投げてしまいたいと嘆く思いを詠んでいる。

問七　本文の内容と合致しているものとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 44 。

① 鳥羽天皇へ出仕するよう仰せが出たのは、堀河天皇の頃の宮仕えの心がけが立派であったと評価されたものであり、筆者はそれを誇らしく感じている。

② 堀河天皇が亡くなる前には鳥羽天皇に出仕することなど全く想像すらしなかったことであり、白河院から出仕の宣旨を聞き、筆者は強い驚きを感じている。

③ 後冷泉院から七夕の節句に参内するように言われたので、周防の内侍は血筋の流れを天の川の流れにたとえ、何度も渡ることはつらいことだと歌を詠んだ。

④ 宮中での生活は大変なものであり、筆者はこのまま鳥羽天皇に出仕すれば、人に交わることもできなくなるほど見苦しく痩せ衰えるだろうとおびえている。

⑤ 昔の物語の中でも感情に身を任せ出家する人物はあさはかな人と批判されており、筆者自身も同様に感じているため、簡単に出家する決意が持てずにいる。

kyosaiguild.jp

〔五〕次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

多くの食客を抱える孟嘗君は、そのうちの一人である馮驩に取り立てを依頼する。その際に馮驩がとった行動を問いただす場面である。

孟嘗君聞二馮驩燒一二*券書一、怒而使二使召一レ驩。驩至。孟嘗君曰、*文食客三千人。故貸二錢於*薛一。文*奉邑少、而民尚多不三以レ時與二其X息一。客食恐レ不レ足。故請二先生一收二責之一。聞先生A得レ錢、即以多具二牛酒一而燒二券書一。何。馮驩曰、然。不三多具二牛酒一、即不レ能二畢會一。無三以知二B其有餘不足一。有レ餘者爲レ要Y期。不レ足者雖二守而責一之十年一、息愈多。C急即以逃亡自捐レ之。若急終無二以償一、上則爲二君好一レ利不レ愛二士民一、下則有二離レ上抵一レ負之名一。D非丁所丙一以厲二士民一彰乙君聲甲也。焚二無用虛債之券一、捐二不一レ可レ得之虛計一、令三薛民親一レ君而彰二君之善聲一也。君有二何疑一焉。孟嘗君乃拊レ手而謝レ之。

（『史記』から。一部表記を改めたところがある。）

＊券書……金券を借りた者がその証として債主へ差し出す文書。証文。
＊文……孟嘗君の名は文、姓は田氏。
＊薛……地名。
＊奉邑……宗教祭祀の費用を給する邑。知行所。

kyosai-guild.jp

問一　波線部X「息」Y「期」について、ここでの意味の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 45 。

① X 利権　Y 期待
② X 利子　Y 期待
③ X 利子　Y 期限
④ X 利益　Y 期限
⑤ X 利益　Y 期間

問二　傍線部A「得錢、卽以多具牛酒而燒券書」の解釈として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 46 。

① 馮驩は領民から取り立てた金で多くの牛肉や酒を人々に振る舞ったうえ、集めた証文もその場で焼き捨てたという。
② 馮驩は領民から取り立てた金で多くの牛肉や酒を人々に振る舞ったのに、証文を焼き捨てられたという。
③ 馮驩は領民から取り立てた金で多くの牛肉や酒を買い求め宗廟に供えた後、預かった証文を焼き捨てたという。
④ 馮驩は孟嘗君から預かってきた資金で多くの牛肉や酒を買い求め宗廟に供えた結果、証文を焼き捨てられたという。
⑤ 馮驩は孟嘗君から預かってきた資金で多くの牛肉や酒を振る舞って人々を集めたのに、預かった証文を焼き捨てたという。

問三　傍線部B「其有餘不足」の解釈として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 47 。

① 誰が貸付額の多い者で、誰が貸付額の少ない者なのか。
② 誰が資産に余裕のある者で、誰が困窮している者なのか。
③ 誰が心の豊かな者で、誰が心の貧しい者なのか。
④ 誰が身分の高い者で、誰が身分の低い者なのか。
⑤ 誰が牛肉や酒を十分に蓄えた者で、誰が牛肉や酒に事欠く者なのか。

kyosai-guild.jp

問四　傍線部C「急卽以逃亡自捐之」の説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 48 。

① 急いで実施しても、もともと返済する気のない逃亡者には、証文など何の価値もないということ。
② 急いで実施しても、もともと返済する気のない逃亡者は、住み慣れたこの土地を捨てても惜しくないだろうということ。
③ 急いで催促すると、返済できない苦しさのあまり、領民は証文を売って資金を作り、新しい住処を探すだろうということ。
④ 催促を厳しくすれば、領民は逃亡するよりも、家財を売り払ってでも現金をつくって払うだろうということ。
⑤ 催促を厳しくすれば、返済できない苦しさで領民は逃げてしまうので、貸した側が証文を捨てるのも同然だということ。

問五　傍線部D「非所以厲士民彰君聲也」を訓読し、すべてひらがなにしたものとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 49 。

① しみんをにくみきみのこゑをあきらかにするゆゑんにあらず
② もつてしみんをはげましきみのなをあらはすところにあらず
③ しみんをもつてはげますにあらずしてきみのなをあらはすところなり
④ しみんをはげましきみのなをあらはすゆゑんにあらず
⑤ しみんをはげますゆゑんはきみのなのしやうとするにあらず

問六　本文の内容と合致しているものとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 50 。

① 孟嘗君の指示により、馮驩は取り立てた金で困窮する薛の領民を集めて牛肉や酒を振る舞う慈善活動を行い、孟嘗君の名声を高めた。
② 孟嘗君に取り立てを依頼された馮驩は、金を貸した者のうち、多くの証文は回収できないと知り、すべての証文を焼くことで孟嘗君に回収をあきらめさせることにした。
③ 孟嘗君に取り立てを依頼された馮驩は、困窮する領民の証文を焼き、取り立て不可能な架空の数字を清算したことで、薛の領民を孟嘗君に親しませ、その名声を高めようと考えた。
④ 孟嘗君は馮驩のとった行動に怒って理由を問いただしたが、馮驩が困窮している薛の領民と返済期限を決めることができたと気づき、手を打って感謝した。
⑤ 馮驩は薛の領民を集めて牛肉や酒を振る舞うことで証文を集め、全員の返済期限を厳しく定めたので、孟嘗君は悪評が立つことを恐れた。

Kosaigun.info

令和７年度実施教員採用候補者選考試験
教科専門試験［高等学校　国語］　　正答及び配点

解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正答	②	④	④	③	②	②	⑤	①	③	②
配点	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
解答番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正答	④	⑤	④	②	⑤	③	①	③	②	④
配点	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
解答番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正答	④	①	①	③	②	②	①	⑤		③
配点	1	1	1	3	3	3	3	3		4
解答番号	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
正答	④	④	③	①		③	⑤	③	①	①
配点	3	3	3	3		3	4	3	3	3
解答番号	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
正答	④	④	②	⑤	③	①	②	⑤	④	③
配点	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

kyosai-gakuin